

沙流川日高町富川地区水害タイムライン第1回検討会

平成29年7月21日(金)に日高町門別総合町民センターにおいて、「沙流川日高町富川地区水害タイムライン第1回検討会」を開催いたしました。

タイムラインは沙流川で水害発生の可能性がある際に、早い段階から関係機関が連携して地域住民及び防災対応者の安全確保を図る事前防災行動計画です。日高町では沙流川の氾濫を想定し、平成29年度に5回の検討会を行い年度内に「沙流川日高町富川地区水害タイムライン試行版」を策定、運用を開始する予定です。



【実施日時】 平成29年7月21日(金) 13:30~16:00

【実施場所】 門別総合町民センター2階大集会室

【参加者】 沙流川流域の防災関係機関 14機関 67名

開会の様子

開会に際し、日高町の三輪町長と室蘭開発建設部の平野部長より開会のあいさつを行いました。三輪町長は「昨年の台風では町内は無事だったものの、千呂露橋が落橋し大きな衝撃を受けた。災害についてみんなで力を合わせて立ち向かっていかなければならない、誰も死なないようにしなければいけない」と話し、平野部長は「水害は比較的前もって予測することができる災害だ。タイムラインを作ることによって地域の防災力向上につながると思っている」と述べ、タイムラインへの期待を表明しました。

趣意説明・設置要綱他

室蘭開発建設部の天野治水課長より沙流川日高町富川地区タイムライン検討会の開催趣旨について説明が行われました。また、検討会開催スケジュールの説明の他、検討会の設置要綱並びに検討体制、座長・アドバイザー等についての提案がなされ、全会一致で承認されました。

講演

東京大学大学院情報学環の松尾一郎客員教授により「タイムライン防災で命を守る」と題した講演が行われました。講演では「大規模災害は多くの首長・自治体職員にとって、初めての体験となる。タイムラインは作ったら終わりではなく、運用の結果を反映し、改善し続けていく必要がある。タイムラインで災害に備え、地域を守ってほしい」と語りました。

情報提供

室蘭地方気象台の伊藤予報官より、平成29年度の出水期より新たに気象庁WEBサイト上で提供が始まった、危険が迫る時間帯を知らせるための情報について説明がありました。

シナリオ・リスクの説明

室蘭地方気象台の田辺防災管理官と室蘭開発建設部の天野治水課長により、タイムライン検討のため参考となる災害シナリオと、その際に考慮すべき災害事象を盛り込んだ災害リスクについて説明がありました。

閉会の様子

本日の検討会の内容を受け、今後のタイムライン検討に向けたアドバイスを、副座長に就任した環境防災研究機構北海道黒木代表理事、アドバイザーに就任した室蘭工業大学藤間名誉教授及び、日本気象予報士会北海道支部志田副支部長よりいただきました。

最後に、室蘭地方気象台の加賀台長より「タイムライン検討では、検討だけでなく関係機関の行動が互いにどう波及するのかも考え理解する必要がある。防災には顔の見える関係作りが重要である。実践的で有効なタイムライン作成に向けて各機関の協力をお願いしたい」との挨拶がなされ閉会となりました。

